

■ 加工ジャガイモ出荷本番

—町イベントでも特産PR—

横浜町支店管内で7月下旬から8月下旬にかけ、契約栽培の加工用ジャガイモの収穫が行われた。主にポテトチップスの原料として、大手菓子メーカー4社と契約する。JAでは出荷数量3,900トン、取扱高1億7千万円を見込む。

生産者数は34戸、面積97畝。同町吹越地区の秋田一夫さん(70)は3畝作付け、「M・Lクラスのサイズが中心で、病気もなく最高の仕上がりと話す。

同支店と野菜振興会横浜町支部は、町の特産のジャガイモをPRするため8月14日、横浜町ふるさとのまつりで、来場者にイモ煮1,000食を無料で振る舞った。むつ市の20代女性は「イモが甘くておいしい」と喜んでいた。



▲収穫機の上で選別する農家



▲町のイベントでイモ煮を振る舞う

■ 大豆乾燥調製の能力アップ

—10月稼働予定—



▲玉串を捧げ、工事の安全を祈願する竹ヶ原組社長

十和田市切田地区にある、大豆乾燥調製施設の能力増強工事安全祈願祭が8月17日、同施設で行われた。10月から稼働予定。

同施設は、十和田地区の面積300畝分を受け入れる。老朽化に加え、出荷までに日数がかかるなどの課題があった。

新プラントの荷受数量は日量35トンと現状より処理能力が3倍にアップ。遠赤汎用乾燥機8基、貯留タンク4基、大豆クリーナー1基を新たに備えることで、荷受けと乾燥調製が並行でき、出荷まで大幅な時間短縮が可能になる。

さらにJAでは、今シーズンから大豆汎用コンバインを更新し、良質な大豆供給の体制を整える。



知ってもらおう!
見つけ出そう!

相次ぐ台風 管内に爪痕 —ハウスが冠水 ナガイモ・ネギ・ゴボウも直撃—

■ イチゴハウス復旧急ぐ

台風7号、8号の影響で、JA管内の各地では農地の冠水が発生した。なかでも被害が甚大だった、むつ支店管内の村田陸夫さん(55)はイチゴハウスが台風7号の接近によって冠水し8月18日、330平方メートルのハウス20棟の復旧に追われた。収穫中の被害に肩を落とすも、再開に向けた作業に励む。

日量200パック(1パック24~30玉)を出荷していたがストップし、被害額は500~600万円にのぼると見込まれる。村田さんは「今は全国的に品薄の時期で高値だったので残念。水に浸かった時間は短かった。復活に望みをつなげたい」と話す。



▲復活を祈りイチゴの泥水を流す村田さん(8/18)

■ ナガイモ被害も甚大

台風10号は、当JAの主力作物、ナガイモの肥大期を襲った。蔓が絡む支柱がなぎ倒されたり、蔓が切れる、穴落ちなどの被害が出た。地中で腐敗しているナガイモもある。追い打ちをかけた今回の台風で、JA指導やさい部は「被害は深刻な状態」と重く受け止めている。

蔓がなぎ倒されたナガイモ畑を前に、東北町徳万才の佐々木祐輔さん(32)は、がっくりと肩を落とす。作付面積1.8畝のうち、半分以上で支柱が倒れるなどの被害を受けた。畑が乾かない上に、蔓が絡んだ支柱は重い。佐々木さんは「復旧作業には人手が必要で、時間もかかる」と、ため息をもらした。

■ 収穫最盛のネギ畑も

台風10号は8月30日の夕方、本県に上陸。収穫最盛期を迎えていたネギをなぎ倒した。ネギは収穫前の約80畝の半分で被害を受けたとJAでは見ている。

「ばけしらずネギ」を60畝作付けする、十和田市深持地区の中野渡とも子さん(50)は、盆明けに収穫が始まったばかりだった。「ネギが倒れて波を打ち、わが目を疑った。収穫と同時の復旧作業には人手が足りない」と嘆く。

ゴボウ、ダイコン等でも冠水被害があり、JA指導やさい部では「迅速な復旧作業、病害虫防除の徹底で被害を最小限にとどめたい」と話す。



▲JA指導員に今後の復旧について相談する中野渡さん(8/31)



▲蔓がなぎ倒されたナガイモ畑を茫然と眺める農家の佐々木さん(東北町で、9/1)

■ 東北・北海道を主導

—ポリシーブック(政策集)作成へ—



▲ポリシーブック作成に向けて意見を出し合う青年部員

当JA青年部は、ポリシーブック(政策集)の作成に向けて検討を始めた。JA全青協が全国で展開するJA単位の政策集作成のモデルのうち、東北・北海道ブロックのモデルとして、平成29年3月の完成を目指す。

7月29日、本店で開いた初回の研修会には、6支店の青年部員36人が参加。現状の不満、地域農業の課題を洗い出した。

2回目の研修会は8月26日に実施し、問題点の解決策をテーマに協議した。

「一球入魂かぼちゃ」いよいよ出荷

— こだわり商品で販売 —

むつ支店管内産のブランド「一球入魂かぼちゃ」の出荷が8月25日から始まった。生育は順調で、作柄も良好。出荷は9月中旬まで続き、主に首都圏の有名デパートでこだわり商品として販売される。

同市南赤川で10%に作付する、木地谷常生さん(64)は8月15日に1回目の収穫を迎えた。1個の重さが2kgほどある、カボチャを大きさに分け自然乾燥させる。1週間ほど乾燥させることで、糖度がさらに増し、甘いメロン並みの糖度13~14度で出荷される。

1株1果どりで旨みを1果に凝縮させるため、ほくほく感と美味しさは極上品だ。生産者17戸が、計3%で栽培。JA全体の出荷量は37トン見込む。



▲追熟のための風乾作業をする木地谷さん

秋作業へ士気高める

— 下田地区「やさい生産者の集い」 —

当JAと野菜振興会下田支部は8月23日、下田野菜センターで「やさい生産者の集い」を開いた。参加農家約100人が焼き肉、交流を楽しみ、秋作業に向け士気を高めた。

下田支店管内の春夏野菜の販売状況は、前年同期比840万円アップの約5億4,600万円。主力のダイコン、ニンジンの平均価格が、昨年より高かったことなどが要因となった。



▲情報交換に花を咲かせる

秋作業もガンバロウ!

— 大深内で夕涼み会 —



▲舞扇流のショーを楽しむ

大深内生産部会合同の「夕涼み会」が7月28日、支店特設会場で行われた。集まった野菜・稲作の振興会、青年部・女性部の部員ら100人は、互いに交流を深め、秋作業に向けて英気を養った。

この日、余興に招いた日本舞踊研究所「舞扇流(十和田市)」の費用は、大深内スカイクリエート(代表・仁和勝千代)が捻出。ラジヘリの日頃の利用に感謝するもので、参加農家はステージショーなども満喫した。

ナガイモ、ネギなどを作付けする、小田正喜さん(51)は「秋の台風は心配だが、頑張る意欲がわく」と話した。

夏ニンジン初の1億円突破

— 上北地区「生産者の集い」 —

野菜振興会上北支部は8月25日、上北支店構内で生産者の集いを開き、夏ニンジン販売の初の1億円突破を祝った。

同地区のニンジン販売は前年同期を約2千万円上回り、1億1千万円だった。参加農家は「他野菜も高値販売になるよう、しっかり管理し実り多い秋にしたい」と話した。夏ニンジンの生産者戸数は30人、作付面積21%。



▲初の1億円突破を喜ぶ生産農家ら

「ぼけしらずネギ」出荷スタート

— 高品質、収量増に期待 —

当JA管内で、ブランド野菜「ぼけしらずネギ」の出荷が進んでいる。十和田と十和田湖の両地区で8月10日、目ぞろえ会を開き農家らが品質基準を再確認した。

管内のネギの面積は約100%、約200人が栽培。ぼけしらずネギは、葉の緑色と軟白部分の境界がくっきりと分かれ、甘く柔らかい食感が特徴だ。

十和田やさいセンターで開いた目ぞろえ会には、120人が参加。市場関係者は「消費者、飲食業に国産志向が高まっている。信頼できる産地として、さらに良いものを」と呼び掛けた。

8月下旬に出荷最盛期を迎え、収穫は12月まで続く。



▲十和田やさいセンターの共同選別作業も8/7からスタート



▲出荷基準を確認する参加農家

機械着脱や作業時のポイント学ぶ

— 担い手に特訓 —



▲トレンチャーによる土の深さを確認する参加者

当JAは8月2日、十和田市の農業技術センターで、ニンニクとナガイモの担い手育成塾の塾生を対象とした初の作業機械講習会を開いた。機械の着脱方法や耕土のポイントを学んだ。

農機メーカーが協力し、20~40代の塾生20人が参加。トレンチャーやニンニク用のマルチ同時消毒機を実際に操作し、深さや土の硬さが均等になっているかを確認しながら作業方法を学んだ。

指導やさい部の斗澤康広部長は「作業機の回転数、速度により品質に大きな差が出る。操作の重要性が認識できたと思う」と話した。

プロジェクトチーム結成

— JA職員8人に委嘱状交付 —



▲期待を込め、委嘱状を手渡す竹ヶ原組合長

平成29年度から3ヵ年の地域農業振興計画書策定に向け、当JAはプロジェクトチームを結成し8月2日、各部署から選出された職員8人に委嘱状を交付した。10年後の当JAのあるべき姿を目指す振興計画書は、来年6月の総代会に提出する。

職員一人一人に委嘱状を手渡した、竹ヶ原幸光組合長は「皆さんの能力を十分に発揮し、農家の所得増大を最重要課題に、地域農業やJAのあり方等、今後の方向性を見いだして欲しい」と期待を込めた。プロジェクト会議は毎月開き、課題協議、事業戦略などを検討していく。

JAを支えてくれている組合員とご家族・地域のみなさんのページです。



三本木事業所管内
十和田市早坂地区

笑顔 きらめいて

(写真・右)ゆあちゃん(4歳)
父/母良田 茂樹さん、母/つくみさん 組合員:康明さん
(写真・左)莉愛ちゃん(3歳)
父/坂本 一磨さん、母/由加里さん 組合員:一男さん
・両親より

ゆあちゃんへ…優しく、いつも笑顔でね!
莉愛ちゃんへ…明るく、元気な子で!

十和田市東部地区の生産者の集いに、両親と遊びに来ていた2人。保育園でも大の仲良しで、一緒に遊んでいる時、とびっきりの笑顔を見せてくれます。



ゆうま
長男 優真くん(1歳5ヵ月)

十和田市七郷地区 父/程川 和徳さん、母/祐希さん
上北支店管内 組合員:蛸名 勉さん

・普段は、どんな子?

じっとしているのが嫌いで、常に動き回っています。食いしん坊で食べ物を見ると目がキラキラします。

・とびっきりの笑顔を見せてくれる瞬間は?

おやつを食べている時、おにごっこをしている時、最近覚えたハイタッチをする時はニコニコです。

・こうなって欲しい…など、両親から一言健康で丈夫な子、さらに賢い子になってほしいです。

子会社 通信

JAグループの子会社は、JAが100%出資し、専門的業務を行っています。

(株)エコー

主な事業内容 生産資材の卸、燃料事業、農機具・自動車販売・修理
福祉事業、結婚式事業、旅行事業 など

◎天野さん(三本木SS)、 加賀さん(ももいしSS)に栄冠 ~接客の技競う~

(株)エコーは8月9日、三本木給油所で接客サービスの向上を目指す、ドライブウェイサービスコンテストを開いた。フルの部で天野彪斗さん(三本木SS)、セルフの部で加賀武人さん(ももいしSS)が、最優秀賞に輝いた。

同社の給油所は、JA管内に10カ所あり、コンテストにはフルの部9人、セルフの部3人が出場。接客の技術、早さなどを競った。

最優秀賞受賞の2人と、優秀賞受賞の梅内大志さん(十和田湖SS)、岡村滉さん(藤坂SS)の4人は、9月14日の県JA-SS協議会主催の県大会に出場する。



(株)協同サービス

主な事業内容 葬祭業、生花部(フラワーハウスあぐり館)、酒類販売部(酒の藤坂店)
十和田地域広域斎苑指定管理

◎協同サービスでは、毎月、各種セミナーを開催しております。

○葬儀の勉強会 参加無料 定員/20名様

日時: 10月18日(火) 10:00~11:30
『現在の葬儀事情2』

○手作りキャンドル教室

参加無料 定員/10名様

日時: 10月12日(水) 10:00~

○フラワーアレンジメント教室

参加料 2,000円(花材代) 定員/20名様
テーマ「ハロウィン」

日時: 10月23日(日) 18:00~

日時: 10月24日(月) 10:30~



お申し込み・お問い合わせは 協同サービスまで
電話:0176-21-1500

各セミナー共に、場所は[まごころホール駒街道]
事前のお申し込みが必要です。

出題/ニコリ

頭の体操 パズル?

二重マスの文字をA~Dの順に
並べてできる言葉は何でしょうか?

1	6		11		17	20
	A					
2			12	15		C
	7	9				
3				16	18	
		10	13			
4	8				19	21
	B					
5			14			D

ヨコのカギ

- 1 運動会の競技の一つ、オーエス!
- 2 現在よりも前の時点
- 3 心臓から伝わるドキドキ
- 4 郵便物に押されるもの
- 5 懸命に走ると切れます
- 7 ストッパーで時間を測定した
- 10 旧約や新約などがあります
- 12 コメやキビ、トウモロコシなどのこと
- 14 パンやうどんの主原料です
- 16 よく行く店の店員と顔一になった
- 17 足のサイズに合った物を買います
- 19 畑に土を盛り上げて作ります

タテのカギ

- 21
 - 20
 - 18
 - 17
 - 15
 - 13
 - 11
 - 9
 - 8
 - 6
 - 3
 - 1
- 刃の手で握る部分
おどけていて面白いさま
結婚する二人を取り持つ人
春・夏・秋・冬のこと
育ち盛りの子は食欲一だ
粘り強い、Iのある若者
セキセイ、オカメ、ダルマといえ
実は栗さんとうんなどの色付けに使
空にはかりと浮かびます
線を引きつくとペンに添えます
よく爪研ぎするベットの
よみかたは引くときペンに添え
線を引きつくとペンに添え

当選者発表

先月号のクイズの答え

(A)ホ (B)イ (C)ニ (D)へ (E)ハ (F)ロ

応募数/33通

○ササキ ノリコウラタ クミコ○サトウ タケル○タカハシ ヒサコ
○ナリタ ヤスシ○マツタ サトカ○オオサカ シンイチ
○オヤマダ エミコ○ウチャマ マサル○スケカワ タケシ 一敬称略

料理レシピのページが大好きです。これからも継続して欲しいと思います。(25歳女性、十和田市)

〔編〕農家さんの時短レシピを募集中です!是非、企画広報課にご一報を。

表紙の継承人が、毎月楽しみです。知っている人が載っていると、特にうれしいです。(50歳女性、七戸町)

〔編〕そろそろネタ切れになりそうです。自薦他薦問いません。表紙撮影にご協力を。

オリンピックでの日本の活躍に、元気をもらいました。自分も農作業に精を出し、収穫した野菜で家族を元気にします。(66歳男性、東通村)

〔編〕日本選手の活躍は、素晴らしいです。時差で、日々寝不足気味でした。



継承人の秋田さんのジャガイモが、とても美味しそうです。東北ポテト味噌貝焼き風味、おみやげに買います。(32歳女性、仙台市)

〔編〕みそ風味、美味しかったです。



ご愛読ありがとうございます。今月もたくさんのお便りを頂きました。

「カヤ人形」の特集を、懐かしく見させていただきました。(65歳女性、十和田市)

〔編〕大切な伝統は、未永く後世に受け継がれて欲しいです。

野菜クイズがとても勉強になり、目からウロコです。農作物についての問題を期待しています。(81歳男性、むつ市)

〔編〕期待に応えられるよう、頑張ります。

十和田のピーマンで、母がチンジャオロースを作りました。ピーマン嫌いの妹が克服することができ、母が喜んでます。(16歳女性、十和田市)

〔編〕ピーマンは、何にでも使える万能食材です。たくさん食べましょう!

あぐれっしゅ読者のリアルボイスをお届けします!

役員室のつづき Vol.22

組合員みなさまに、JA常勤役員を身近かに感じてもらうコーナーです!

「奉仕する農協の経営基盤を確保」

「人はパンのみにて生きる者にあらず」とする。意味は、「人は物質的な満足だけを目的として生きるものではない。高い志を持ち、その目的を達するための行動が大事だ」という教え。でも、「生きるためには最低限のパンが必要だ」も事実である。

農協は「農家組合員の利益を確保するため」に存在している。しかし、組合員の利益を限りなく追及するためには、しっかりとした農協経営基盤が求められる。でも、農協経営を優先するばかりではダメ。その結果、「農協のための組合員か」との批判を浴びる結果となる。そして、農協不要の声が吹き荒れ、農協離れとなる。

結論から先に言うと、農家組合員のために奉仕するためには農協経営基盤を確立しなければならない。農協経営悪化すれば、「組合員サービス強化できない」「組合員支援ができない」「給料を満身に払えず職員のやる気がなくなる」「優秀な職員を確保できない」などとなる。最悪、農協経営が赤字になれば最終的に組合員負担となる。

農協経営基盤の良し悪しは、自己資金の多さで決まる。農協の自己資本とは、組合員の出資金と毎年の剰余金から積立している内部留保である。その我が農協自己資本比率は20.77%(27年度末)。金融機関の国際ルールでは、自己資本比率8%以上を求めているので、当農協は基準を大幅に超え、青森県内でトップレベルにある。

今後も「最低限のパン」としての経営基盤を確保しながら、「組合員の利益と社会貢献」を目的とする協同組合としての高い志を実行していかなければならない。

常務理事 小林 光浩

金融部 年金はJAにおまかせ!

当JAで年金をお受け取り、またはご予約いただきますとうれしい特典がいっぱい!

- 特典**
- ◎「年金友の会」の各種イベントに参加できます。
 - ◎「受給者プレゼント」を毎年進呈
 - ◎お得な年金定期貯金「結いの恵み」で、店頭表示金利+年0.25%金利上乘せ。さらには「お申し込み時」と、「満期時」に8,000円相当の商品が当たる抽選付です。

※定期取扱期間～平成29年3月31日
 ※詳しくは、別途チラシかお近くのJA窓口へお尋ねください!
 ※年金受給時の面倒な手続きは、JAがお手伝いします。

理事会だより (第5回:8月30日)

- 議事**
- ▶外部出資の増口を承認する
 - ▶十和田おいらせ収穫祭開催を承認する
P2(本店)、P15(ももいし・下田)に掲載 一ほか

- 報告事項**
- ▶内部監査の結果について
 - ▶三陸アシスト協同組合への出資について
 - ▶総代選挙の結果について
P5～7に掲載
 - ▶資材配送センター倉庫新築工事の入札結果について 一ほか

総務部 ももいし&下田支店合同 おいらせ町秋の農業祭り開催

日時:平成27年10月23日(日)/午前9時～午後4時
 場所:縄文の森イベントホール
 (おいらせ町西後谷地31-3・おいらせ町下田公園近く)
 住所:おいらせ町山崎2587

- 百石高校生徒さんが、地元食材を使って腕を振るう試食コーナー
- 農家さん自慢の農産物共励会○新鮮やさい袋詰め放題、昔ながらのセリ実演会、豪華景品が当たる抽選会ほか。

編集者の日和日記

今まで経験のない猛烈な強風と大雨。異例のルートで北上し北日本を直撃した台風10号は、管内の農作物にも大きな爪痕を残した。台風が去った翌日、取材先での生産者の落胆の表情が忘れられない。変わりやすい秋の空。今後も台風シーズンが続き、まだまだ気が抜けない。どうか「無事の出来秋を」と願う。T

金融部 JA住宅ローンとくとかプラン 10/31(月)まで

金利引き下げキャンペーン及び「団信特別金利キャンペーン」実施中!

「三大疾病保証特約付団信」または「長期継続入院特約付団信」の上乗せ金利0.2%が借入全期間無料。新築・リフォームをはじめ、現在ご利用中の住宅ローンのお借換えまで住宅に関する様々な用途にご利用いただけます。

ローン相談会(本支店のご案内) 毎月第3日曜日 9:00～15:00

9月18日 10月16日

教育資金、新築やリフォーム、自動車のご購入など、組合員以外の方でもお気軽にご相談ください。
 農業機械・農業に関わる設備資金等の相談も承ります。

各種ローンの金利引下げキャンペーン実施中! 各種ローンがネットで仮申込みできます。検索方法は「JAネットローン」で検索!!

JAネットローン 24時間365日受付中

米穀畜産部 平成28年産米の受入施設と受入品種

受入期間…9月17日(土)～10月21日(金)
 (天候によって受入期間は変更になる場合があります)

施設名	品種	まっしぐら		つがるロマン	あきたこまち	その他うるち
		JA米	一般米			
赤沼カントリー	tel.0176-22-1171	○				
藤坂カントリー	tel.0176-23-5646	○				
大深内ライスセンター	tel.0176-27-3425	○				
十和田湖カントリー	tel.0176-70-3555	○				
上北小川原ライスセンター	tel.0176-56-4420	○	○	○	○	○
七戸見町ライスセンター	tel.0176-62-9655	○	○	○	○	○

※ 利用の場合は、各施設利用申込書兼同意書の提出をお願いします。
 ※ 飼料用米・米粉用米作付者の施設利用については、本店米穀課から案内致します。

米穀畜産部 8月 県家畜市場子牛販売成績(黒毛和種) / 開催日:平成28年8月5日

(金額:千円) [地区別]

種雄牛	雌			去勢			地区	雌			去勢				
	上場頭数	高値	平均	上場頭数	高値	平均		頭数	平均価格(千円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	頭数	平均価格(千円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)
平安平	7	804	719	11	990	901	十和田地区	27	737	286	303	35	898	323	292
第1花国	8	845	693	5	1,006	927	十和田湖地区	8	758	294	297	13	892	324	294
幸紀雄	4	693	681	8	1,172	950	むつ地区	14	716	295	310	12	870	324	293
美国桜	4	801	735	3	1,036	903	青森県全体	158	704	286	303	216	836	320	292
美津照重	2	744	724	4	993	910									
計	25	-	707	31	-	919									

1種雄牛上場 上位5頭を記載/JA取り扱い分

青森県全体については青森県家畜市場データ参照
 ※販売金額は消費税抜き価格です。
 ※5種混合ワクチン又はキャトルウィンSHSの接種が上場条件となっております。
 (接種のないものは上場できませんのでご注意ください。)

10月市場開催日/平成28年10月7日(金)